

そらち
日誌

ラグビー部の奮闘に感動

芦別などを会場に9月下旬に開催された全道高校ラグビー北選手権大会では、芦別・羽幌・富良野の合同チームが遠軽とともに同点優勝した。全国(花園)出場は抽選で遠軽に決まったものの、芦別勢にとっては1989年度の単独チーム以来35年ぶりの優勝となった。

合同チームの戦いぶりは素晴らしかった。1回戦は旭龍合に42-14と快勝。準決勝の中標津戦は14-12と大接戦を制し、決勝では昨年度の覇者遠軽相手に17-17と一歩も譲らなかった。最後まで諦めず頑張れば結果につながるという成功体験は、選手たちの今後の人生にとって大きな心の支えになることだろう。

芦別高の本年度の入学者は人口減などの影響で定員80人のところ26人と、前年度の半分以下にとどまった。市は来年度から修学費補助の強化など支援策を強化、学校側も授業改善や高校の魅力PRに力を入れている。

芦別高は空知で唯一のラグビー部がある学校だ。選手たちの奮闘をみて、芦別高や同校ラグビー部に興味を持つ人が一人でも増えてほしいと願っている。

(中戸透)